

ゆめ

に向かって！



大阪市立豊新小学校
校長室便り③
令和8年7月13日

さあ、夏休みです！ あなたはどんな夏にしますか？

早いもので入学式、始業式からすでに4か月。今週の木曜日は1学期の終業式です。これまでの学校生活を振り返ってみましょう。みなさんにとってどのような学期だったでしょうか。4月に立てた目標に向かって頑張れましたか。夏休みを前に生活を自己点検してみましょう。



- 明るいあいさつはできていますか？
- 感謝の気持ちやおもいやりの心を持っていますか？
- 授業をしっかりと集中して受けましたか？

さあ、長い夏休みがスタートします。あなたは40日間をどのように過ごす予定ですか？例えば、たくさん本を読んでみるのもいいと思います。日頃は忙しくて読書をする時間がなくても、夏休みなら読む時間も少しはあるのではないのでしょうか。本屋さんで好きな本を買って読んだり、豊新小学校の図書館で紹介されているおすすめの本や課題図書を読んだりするのもいいと思います。本を読むことで幅広い知識を身に付けることができます。また、読書を通じて自分の考えや意見を持つことができるようになります。

夏休みには図書館開放日が設けられています。ぜひ、図書館に来て本と対話する機会をもってください。この夏は「読書の夏」にしてみませんか。そして、読書感想文も頑張ってみましょう！



「そのひと言」

朝、玄関前で子どもたちが登校してくるのを迎えていると、「おはようございます」と、明るく元気な声であいさつをしてくれます。そんな時は、とってもうれしくなって、その日1日、がんばろう！という気持ちになります。

朝だけでなく、廊下ですれ違ったときも「こんにちは」とあいさつしてく

れる人もいます。そんな時、豊新の子どもたちは素敵だなあって思います。

先日も、学校に来られた方が、「子どもたちのあいさつが素晴らしいですね。廊下ですれ違った時に『こんにちは』と元気にあいさつしてくれました。」と、話されていました。それを聞いて、とてもうれしかったです。これからも気持ちの良いあいさつを続けてください。



ところで、あいさつもそうですが、人間というのは「ひと言」で心が通い合ったり、助けられたりするときもあれば、その逆の場合もあります。

こんな言葉を紹介しましょう。題は、「そのひと言」です。

そのひと言で 風が立ち、
そのひと言で がっかりし、
そのひと言で 泣かされる。
そのひと言で はげまされ、
そのひと言で 夢を持ち、
そのひと言で 立ち上がる。
ほんに大事なひと言よ。



何気なく出るひと言に、こんなたくさんの結果がついてくるのです。言葉は、使い方次第で相手を傷つける暴力にもなります。

本校の合言葉「豊新小の あ・い・う・え・お」の「お」は「思いやりの心」を表しています。意地悪や相手を傷つける言葉ではなく、思いやりのある暖かい言葉（あったか言葉）が自然と出るように心がけてほしいと思います。**あったか言葉**とは、自分が言われてうれしい言葉・言われた人が嬉しくなる言葉・優しい言葉など、例えば「ありがとう」や「一緒にやろう」、「おはようございます」など、あいさつ言葉もあったか言葉です。それに対して、言われて嫌な気持ちになる言葉や人を傷つける言葉をチクチク言葉といいます。私自身もあったか言葉が増えるようにしたいと思います。少なくとも相手の心に「ぐさっ」とトゲさす言葉にならないように気を付けたいものです。（校長 尾崎士郎）

